

日本語の個性

渾然一体

外山滋比古

一國の文化と生活

特急列車に乗っていた外国人が同行の日本人に、いま通過した駅の名は何だったと訊いた。漢字は見えたが、下の仮名書きは目に入らなかつた。日本人が、読めなかつた、と云つたところ、[「]あなたの方が教養のある人でも読めない地名があるのか」といつたりされた。という話がある。そんなことで教養を疑われた日本人は面喰つたに違いない。

固有名詞は読めない、読めなくて差支えないのが日本語である。地名など新しいふん意

な文字にあって、通過する駅の名前を
念にしない。横字の多くが当字だから、判じ
もののようなのが珍らしくない。
人の名も見ぬひも読めずというのがゴロゴ
ロしている。ゴロゴロたゆひは、ほいめて
「相手にはば通じない。お愿者の爲に付窓口で
名前を伝えるのは、昔は覚悟したものである
ひしおすでは、名刺を交換して貰うさつする
ことになつてゐる。もらつた名刺が読めなく
ても、「ひしおも、ひしおも、よろしく」と。な人と読む

のか、紐いたりしては父礼になる。
 ひところアメリカ帰りの人が、向うでは
 新年にかぎすのは特別な場合だ、われわれも
 やめた方がいい、さびと云って、いくらか
 併する向きもあつたが、やがて消えた。名刺
 ほど便利なものはない。日本では。
 名刺をもつて安んじていて、いざ電報を
 打つという時になつてあつてる。かつて電報
 は片仮名しか扱わなかつたから、読みのわか
 らぬ相手に電報を打つのが難しい。新聞の死

亡記等の喪主の名に送り仮名かっいているの
も(電吊)をお打つたためである。

仮名といえは、昔、田舎のおやしさんか、
鬼の打つてきた電報を見て、了せつかく大
學までやったのに、まだ、片仮名しか書けな
いのかと、難い太という笑ひ話がある。句讀
点もないから、ツマデヤタカネオリレとか、
津まで来た金送れとはなく、妻が出た金お呉
と誤読されたというのをもよく知られていた。
改文などとは違へ日本語は人が考へをしな

ちいが、読めるのは読ままじり仮名えのため
である。英語で読用をつめたら、お代りのよ
うになる。読用がすくなく、仮名由かりの文
書はたいへん読みにくい。~~お代り~~の仮名のつか
えている問題のふつひである。

ある母親が望級参観に行ったら、教室のう
しろだ、おか子の習字が張り出されてい
る。おはたいせつとひある。そんなに親思いな
のかとお花んが帰った。うちでこどもをほめる
と、お花んは大切のつもりが、お花んと云めれ、お

ツクリきたといろのは実態である。

日本語の表義には

漢字

平仮名

片仮名

のミ体か混用される。近頃はアルファベットも普及してきて、やはりだにぎやかになつていゝ。^{一種然}としていゝと思つていゝ人はすくなくない。それを

もつとも麻痺感のあるのは凄まじい。官庁名な

と理宜の行列である。また新しく出まゐる中の名前も、飯沼がすこしづつ増えている。かつては飯沼のすくなくなかつた女子の名前か、このごろは理宜が圧倒的に多い。もつとも理宜を飯沼として用いて、万梨子、映理子、麻衣子^なといとする。昭和飯沼と云ふれる。万梨子^なに何ていふというわけだ。

戦前の小学校は片飯沼から教えた。それが甲飯沼が先になつて、片飯沼はひところ影^{かげ}かろうすかつた。それをひつくり返したのがここに

2
1

7

6

又だった。初期のコンビユーは僕なんか言
るくて、地名人名お喋りたくなすて片仮名で
打ち出した。ずいぶん強みがあったが、姐
争が若新投稿おかうお勝した。なれて見れば
片仮名もかめいいひばりいかとなる。外ま強
ひばりやまひした片仮名に好感をいたくよう
に感ったらしい。

それを裏付けるかのうりに、十数年前かろ
片仮名の企業名が読出した。長年、売り込ん
だきた読者の社名を惜気もなくすてて、おけ

9 ながうちい、候処にする大企業も~~ある~~。片
 候処には妙な匂いがなく、新しいイメージを
 くり易いのが好まれるらしい。
 ながうちはならじとアルファベットがふえ
 基。N T T がその走りで、J T、J R など J
 へシヤパンへのつく企業も幅をさかす。N
 H K は日本株の頭文字だが、近年のもうひとつ
 漢の略字である。J R などばるばるお耳おめり
 だが、馴れは平氣になるからよくしたもので
 ある。せなり

かいつて

日本のことは複雑な線でいくつもの様
式、スタイルが併存している。ほかの
国ではこういう異質な異様はみえないたろう
それゆえに、つかいこなすのは、たいへん
苦力かいる。日本人はそのためにといへば、
いづれもしているかみかゝるいか、
いれど、ボクはなうてすむ。日本強の
人が珍しくなくなるたが、出来るのは合致
の。三徳澤の文を綴ることばほとへい
い。やはり、
ことばのさきは小国なりである。

2
ハ